

1. 科目名 (単位数)	スクールカウンセリング特論 (2単位)	3. 科目番号	PSMP5274
2. 授業担当教員	野口 理英子		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	スクールカウンセリングは、児童・生徒の学校不適応からの回復、心身の成長や発達、心身の健康の維持・増進を目的とした支援活動です。本講義では、不登校、いじめ、虐待などの教育分野における諸問題を理解し、予防、早期発見を含む具体的な取り組みについて考えます。		
8. 学習目標	1. スクールカウンセリングの意義と目的について理解し、説明できる。 2. 教育分野における心理的支援を要する諸問題について理解し、具体的な支援方法について考えることができる。 3. スクールカウンセリングの具体的な進め方、組織的な取組や連携の方法を理解し、説明できる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 関心のあるテーマを選択し、まとめ、授業内で発表する。 2. 上記のテーマに関する文献をまとめ、授業内で発表する。		
10. 教科書・参考書・教材	【参考文献】 宮川充司・津村俊充・中西由里・大野木裕明 (編)『スクールカウンセリングと発達支援』ナカニシヤ出版, 2018 武内珠美・渡辺亘・佐藤晋治・溝口剛 (編)『教育臨床の実際 学校で行う心と発達へのトータルサポート』ナカニシヤ出版, 2018 石隈利紀 (著)『学校心理学 教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス』誠信書房, 1999		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 上記の学習目標を達成できていること。 ○評定の方法 発表レジュメ 50%, 授業への参加 (グループワーク, 事例検討への参加, 等) 50%		
12. 受講生へのメッセージ	学校という組織の中で、心理職としての専門性をどのように発揮できるのか、学校内外でどのような連携をしながらスクールカウンセリングを進めていくのがよいのか考えましょう。発表レジュメの作成にはしっかり取り組んで下さい。また、講義内で実施する発表、グループワーク、事例検討に主体的・積極的な態度で臨んで下さい。		
13. オフィスアワー	授業内で周知します。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1～2. テーマ	スクールカウンセリングとは何か		
第1回	スクールカウンセリングの概念と背景		
第2回	スクールカウンセリングの学校へのかかわりと方法		
【学習の目標】	スクールカウンセリングの概念、意義、目的を理解する。		
【学習の内容】	教育現場で行われている相談活動におけるスクールカウンセリング位置づけを整理する。また、スクールカウンセリングの歴史と現状を理解し、教育現場で必要とされるスクールカウンセリングの在り方について考察する。		
【キーワード】	スクールカウンセリング、教育相談、チーム学校		
【学習する上での留意点】	事前学習：発表者はレジュメを作成する。 事後学習：授業で学んだ内容を整理する。		
3～5. テーマ	児童・生徒の心身の発達と精神病理		
第3回	子どもの心身発達の障害とその対応		
第4回	神経発達症候群と発達支援		
第5回	青年期から成人前期までの精神病理		
【学習の目標】	児童・生徒の心身発達を理解し、発達期に現れる障害や精神病理について理解する。		
【学習の内容】	特別支援教育の対象となっている障害や発達期に現れやすい精神病理について整理し、具体的にどのような対応がなされているのかを知る。支援の対象となる児童・生徒や保護者がどんなことで困り、どんな支援を求めているのかを考察する。		
【キーワード】	特別支援教育、発達障害、神経発達症群、摂食障害群、強迫症、素行症、抑うつ障害群、統合失調症スペクトラム障害、保護者支援		
【学習する上での留意点】	事前学習：発表者はレジュメを作成する。 事後学習：授業で学んだ内容を整理する。		
6～11. テーマ	教育分野における心理的支援を要する諸問題		
第6回	不登校・高校中退・ひきこもり		
第7回	児童虐待と家族病理		
第8回	いじめ		
第9回	非行少年とその更生		
第10回	グローバリゼーションと発達支援		

第 11 回 特別支援教育の現在	
【学習の目標】 教育分野における心理的支援を要する諸問題について理解する。	
【学習の内容】 不登校、いじめ、虐待など、教育分野における諸問題の現状と背景について理解する。また、事例を通して、アセスメントの仕方や具体的な支援方法について考察する。	
【キーワード】 不登校、児童虐待、いじめ、非行、多文化化、特別支援教育	
【学習する上での留意点】	
事前学習：発表者はレジュメを作成する。	
事後学習：授業で学んだ内容を整理する。	
12～15.テーマ	スクールカウンセリングの実際
第 12 回 スクールカウンセリングの進め方（児童・生徒への対応）	
第 13 回 スクールカウンセリングの進め方（保護者への対応）	
第 14 回 予防的介入の意義	
第 15 回 心理教育プログラム	
【学習の目標】 スクールカウンセリングの進め方について理解する。	
【学習の内容】 カウンセリングの基礎的な知識と考え方にに基づき、児童・生徒、保護者への対応について理解する。面接場面での態度や使われる技法を体験的に学ぶ。また、予防的介入や早期発見のポイントを整理し、心理教育プログラムについて模擬授業を行う。	
【キーワード】 カウンセリング技法、児童生徒との面接、保護者との面接、心理教育プログラム	
【学習する上での留意点】	
事前学習：発表者はレジュメを作成する。心理教育プログラムの授業案を作成する。	
事後学習：授業で学んだ内容を整理する。	